



宿舎について

商学部ホスピタリティ・マネジメント学科 松岡 早秋

大学があるプレストンとはどんなところ？

イギリスの中でも少し田舎なところ。しかし電車やバスが通っており市外に出やすい。プレストン駅の近くには商店街みたいなものがあり買い物を楽しめる。

宿舎自体の設備やセキュリティについて

- ①建物の入口にオートロックがついていて、鍵でオートロックを解除して入ることができる。
- ②ユニット(個室5室に対して共有キッチンとリビングがある)の入口にもオートロックが付いている。
- ③エントランスやランドリーに入る時は全員共通で入れるが、ユニットに入る時は、そのユニットに住んでる人がいなければ入れないようになっている。

個室・ユニットのしくみについて

ユニットの中で5人で1区画に分かれている。区画の中で5人の各個室と共用のキッチンがある。各个室は入ってすぐにトイレとシャワー室がある。部屋によってはシャワー室に扉が付いている部屋もあるが、カーテンで仕切る部屋もある。カーテンで仕切る場合カーテンの寸法が足りずトイレまで水浸しになることも…

1人分の小さな収納が付いていて洋服がかけられるようにポールが付いている。日本の物より太くて丈夫。ベッドはマットレスで、ベッドの上に電気が付いているため読書などしやすい。隣にカラーボックスがある。机は広くL字のような形なので使いやすい。机の下は引き出しになっている部分がある。引き出しは深さが異なるものが3段あるためペットボトルを立てて入れることができる。机の上に収納ボックスがあり勉強に使うものなどをしまっておける。

窓が机の正面にある。一応外から見づらいガラスが使われているが、夜になると部屋の方が明るいため外から見えてしまう。日が落ちたらカーテンを閉めた方が良い。

ヒーターが付いているが、使えない部屋もあった。

プラグは四角い3本足のBFタイプ。机の周りにコンセントがある。各コンセントにスイッチが付いていて、プラグを刺したままでもスイッチのON、OFFができる。



キッチンやリビング・洗濯について

キッチンは1区画で共用になっている。ダイニングキッチンなので、作った料理をすぐに食べられる。

キッチンには、IHコンロ、洗い場、食洗機、冷蔵庫、ポット、レンジが備え付けられている。料理ができる備品は揃っているが、包丁が切れにくい。区画によって備品が違う。必要な時は借りに行く。

洗濯は寮全体で共用。ランドリー室に上が乾燥機、下が洗濯機になっているものが5、6台並んでいる。洗濯にも乾燥機にもお金がかかる。洗剤は各自のものを使う。ランドリー室に入るにもオートロックキーが必要。

買い物をする場所や支払方法について

買いたい商品を選んでレジに行く。大型店ではレジのところベルトコンベヤーがあるので、そのベルトコンベヤーに商品をカゴから出して置く。自分の分が終わった合図として三角柱を横にしておく。店舗によってはレジ袋有料。レジで支払いをする時、イギリス人は小銭をたくさん出されるのを嫌う。ちょうどならまだいいが、お釣りがいるような小銭の出し方はやめた方がいい。

寮の近くにコンビニエンスストアのようなものがある。日本のように24時間営業ではないが朝早くから夜遅くまで空いている。

大型スーパーも寮の近くにあるため必要なものが結構揃う。

ほとんどのお店でクレジットカード払いも出来る。しかしお店によって使えるブランドが異なる。マスターカードはほとんどのお店で使えるがビザカードはつかえないところがある。

日本から持参した方がいい物、また、現地で購入した方がいい物は？

◎日本から持参した方がいい物：洗濯ネット、洗濯バサミ

◎現地で購入した方がいい物：シャンプーなどの液体のもの(好みがある場合は除く)

宿舎や大学周辺

最寄駅:プレストン駅 寮から駅まで徒歩20分ぐらい

寮から学校まで徒歩10分かからないぐらい

パブが多くある

その他

予告なくオートロックキーが変更されることがあった。日本では事前に連絡があるが何も連絡なかったから戸惑ったが、慣れてしまえば突然の変更も気にならなくなった。

洗濯はお金がかかるうえに乾くのが遅かったため2日に1回で先輩と一緒にしていた。

パブが近くにあったにもかかわらず行く機会がなく行けなかったから後悔している。

寮の周辺は商店街のようになっていていろんなお店があった。近くに雑貨店が何件もありそのすべてが同じような商品はあまり置いてないためお店の個性が出やすいのだと思った。